

平成29年度  
四倉中学校

# 学校だより

4月21日(金) 第3号

文責 校長 中根 猛

## 津波避難訓練を実施しました

4月18日(火)の6校時に津波避難訓練を実施しました。大地震が発生し津波の到着が予想されるとの想定で行いました。避難場所は、海嶽寺です。四倉中学校の校舎屋上は、津波避難ビルに指定されていますが、「より速く、より高く、より遠く」の前提で、海嶽寺の駐車場を避難場所としました。4回の放送による指示をよく聞いて学級ごとに避難行動を開始しました。昇降口で人員が確認でき次第、駆け足や早歩きで海嶽寺に向かいました。避難途上の交通安全のために要所要所に副担任の先生方を配置しさらに、四倉交番からの応援もいただきました。

14時34分に避難を開始し、一番速いクラスが14時41分に避難が完了しました。最後のクラスが避難を終えたのが14時51分でした。クラスごとに整然と列を作って素早く避難することが出来ました。その後、津波避難の三原則について次の話をしました。この三原則は、群馬大学の片田敏孝先生(釜石市の危機管理アドバイザー)が提唱されていることです。詳しくは、「人が死なない防災」(集英社新書)をご覧ください。

- ※津波に対する三原則
- 想定にとらわれない
  - 最善を尽くして逃げる
  - 率先して避難する

なお、生徒が学校にいる時間帯で津波の到着が予想される場合は、海嶽寺に避難しその後、四倉高校に向かいます。保護者の皆様も安全な場所への避難に努めてください。

## 全校集会・交通教室から

4月20日(木)の6校時に交通教室を開催しました。ドライブレコーダーによる自転車事故の実態をとらえたDVDを視聴して交通安全担当の小湊先生から指導していただきました。四倉中学校周辺の6号国道は、交通量や工事車両の増加などで特に朝の出勤時間帯がとても危険な状況です。昨年は、11月から12月にかけて登校途中の生徒が交通事故の被害に遭うことが度重なりました。幸い大きな怪我には、至りませんでした。重大事故になる可能性もありました。そこで、次の事柄について学校でも指導しましたが、ご家庭でも折に触れてお話しください。

- ①事故の危険は、どこにでもある。周囲に注意を巡らして危険を予測すること。
- ②歩道を歩くときは、できるだけ車道よりも遠いところを歩くこと。
- ③傘を差しているときは、自動車の風圧に傘をとられないように注意すること。
- ④事故に遭ったら「大丈夫」と自己判断せずに警察への通報を依頼したり、車のナンバーや運転者の氏名や連絡先を確認したりすること。
- ⑤危ないと思った状況では、運転手と目を合わせて自分(歩行者)を意識してもらうこと。
- ⑥コンビニから出てくる車に気をつけること。

また、四倉中学校では、登下校時の交通状況を考慮して次の三つの四倉中ルールを定めていますので、ご理解とご協力をお願いします。

- 学校前のローソン横の押しボタン式信号機は、朝の登校では、使用しない。
- 登下校共に駅入り口の6号国道交差点の歩道橋を利用する。
- 自転車通学生徒は、南門から入り駐輪場に自転車を入れる。

安全に登校するためには、時間に余裕をもって家を出ることが必要です。そして、朝、送り出すときには、車に気をつけることとかヘルメットのあごひもをしっかり締めることなどひと言かけてください。よろしくをお願いします。

## 授業参観・PTA総会にお越しく下さい

4月28日(金)13:00～授業参観を開催します。その後、学級・学年懇談会、PTA総会、部活動保護者会と続きます。

新年度がスタートして3週目が過ぎようとしています。生徒は、落ち着いた環境の中で学習や部活動に励んでいます。1年生は、重い通学カバンを背負っての登下校や部活動などで体力的につらさを訴える頃ではないでしょうか。また、ここにきてインフルエンザの流行も心配されます。子どもたちの学校での生活の様子をご覧くださいと思います。是非、お越しく下さい。